

さつきた★

ボランティア通信

2021年3月号
Vol.10

発行
札幌市北区ボランティア
活動センター

令和3年度の受け付けは 3月10日スタート!

ボランティア活動保険

「ボランティア活動保険」の令和3年度の受け付けは、令和3年3月10日(水)から開始いたします。4月1日以降もボランティア活動を継続される場合は、更新の手続きをお願いします。手続きの窓口は北区社会福祉協議会、もしくは札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センターです。

「ボランティア活動保険」とは、ボランティアが活動中の事故によりボランティア自身のけがや、他人に損害を与えたことにより賠償問題が生じた場合に補償する保険です。お一人様一口加入が原則です。

所属団体が一括して更新手続きを行う場合もありますので、団体に所属されている方は、更新方法をご確認ください。お願いします。

介護サポーターとして登録されている方は、札幌市社会福祉協議会で更新手続きを行うため不要です。



【札幌市北区ボランティア活動センター】

お手伝いを探している方と手を貸せる方を結びつける役割を果たしているのが当センターです。どうぞお気軽にお問い合わせください。

〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目1-1 北区役所1階
社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会内

【相談時間】 8:45～17:15 (土日祝日、年末年始除く)

【TEL】 011-757-2482 【FAX】 011-737-7270

【HP】 <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/kita-shakyo/>



お気軽に
連絡を!

あなたの街の ボランティア訪問！

小さな活動が誰かのために…

～コミュニティーカフェで交流～

一般社団法人札幌YWCAが開設している「Y's Café (ワイズカフェ)」(北区北7条西6 北海道クリスチャンセンター1階)は、ボランティアが運営するお店で、メニューの考案から仕入れ、調理、接客まで手掛けます。コロナ禍でお休みを余儀なくされたこともありましたが、入店制限や食器を含めた消毒などの感染対策をとってお客様を迎えています。

YWCAはキリスト教を基盤に世界中の女性が連携して女性の社会参画を進め、人権や健康、環境が守られる平和な世界を実現するための国際NGOです。札幌YWCAのカフェは安全安心な食べ物を提供し、地域の情報交流を目的とする“コミュニティーカフェ”として2004年にオープン。不登校や引きこもりぎみの方々をサポートするため、カフェを体験学習の場として提供するほか、店内ではチャリティバザーなどの開催やフェアトレード(公正貿易)製品や道産品の販売、SDGsの一環としてソイ(大豆)ミート料理の提供など活動は多岐にわたり、その時代に必要とされるものばかりです。先日、感染対策として参加人数を30人から10人に減らして久しぶりにミニコンサートを開催しました。演奏場所を失っていた音楽家も、家にこもりがちだった聴く側も、ともに「豊かな時間を過ごせた」と好評のようでした。



フェアトレードのチョコなどが並ぶ店内



榮まり子会長(左)と松本恵津子さん

訪問した2月22日、ボランティアとして店先に立つのは松本恵津子さん。「人手が足りないから手伝って」という友人のひと言がきっかけでした。「私たちの活動の向こうにはどんな人がいるのかを考えながらのボランティア。カフェの皿洗いは小さな活動かもしれないけれど、世界の誰かを救うことにつながっている。そんなことを実感できるので頑張れるのかもしれない」とやりがいについて話してくれました。榮まり子会長は「ボランティアは報酬を伴う仕事では経験できないことも多いため、世界観を広げることにつながる。思わぬことが出会いの中にあり、豊かな関係性が結果として返ってきます」と言います。視野を広め、自らの成長も感じられるような体験ができそうです。



春はもうすぐ！

新型コロナのワクチン接種が始まりましたが、感染対策はこれからも必要のようです。自由に人と会ったり、出かけたりすることがままならない状況が続き、気分が沈みがちになりますが、春は確実に近づいています。気温は少しずつ上昇し、日も長くなりました。花の季節はもうすぐです。

